

日本体育・スポーツ経営学会 第 47 回学会大会のご案内

■ ごあいさつ

このたび、日本体育・スポーツ経営学会第 47 回大会を久留米大学御井キャンパス（福岡県久留米市）において、2024（令和 6）年 3 月 16 日（土）～17 日（日）の 2 日間（プレプログラムとして若手研究者ワークショップを 3 月 15 日（金）開催）の日程で開催する運びとなりました。九州ブロックでの開催は、第 40 回大会（2017.3、鹿児島大学）以来、7 年ぶりの開催となり、久留米大学では、初めての学会大会開催となります。

今回の学会大会テーマは、「文化としてのスポーツの発展に寄与する体育・スポーツ経営学」とさせていただきます。文化としてスポーツを捉え、人々の権利として保障しようとするスポーツ推進体制は、果たしてそれを実現してきたのか。あるいは、文化の質を高めてきたのか。折しも、新型コロナウイルス感染症拡大に際して、スポーツに関わる諸活動はいち早く「自粛」や「制限」「延期」の対象とされてきました。スポーツという文化が人々の生活にとって「不要・不急」なのか否かという問いは、「アフターコロナ」が日常化しつつある中、忘却の彼方に押しやられてしまったかのようです。このことは、学術的な視点から「豊かなスポーツライフの実現」を標榜してきた体育・スポーツ経営学の知見が、その実現にどれほど寄与してきたのか、そもそも「豊かなスポーツライフ」をいかに考究の対象にしてきたかを厳しく問うものでもあるかと思えます。「豊かさ」の実現を目指して、人々と運動・スポーツの関わりを産出する各種事業がいち早く、しかもトップダウンで停止された事実は、その「豊かさ」が人々にとって不可欠ではないか、それが実現されてこなかったか、あるいは「文化としてのスポーツの豊かさ」が未だ、市民的公共性にひらかれた議論の対象に成り得ていない現状を示唆しているのかもしれない。本大会では、基調講演ならびに理事会企画シンポジウムにおいて、他領域の専門家(文化経済学、文化政策学、体育授業論、歴史社会学)を交えて「文化が豊かである」とか「文化の質が高い」、「文化を創造する」、「文化が発展する」とは、一体どのような現象として捉えることができるのかを学際的に議論する機会を得たいと思っています。

本大会は 4 年ぶりの完全対面開催となります。現在、大会実行委員会では、本大会が皆様と直接対話による充実した時間、そして学術的なコミュニケーションの場づくりとなるべく、鋭意準備を進めているところです。年度末のお忙しい時期とは存じますが、多くのみなさまが会場まで足を運んでくださいますことを心より期待しております。

大会実行委員長 行實 鉄平

■ 大会概要

- 期 日 : 2024（令和 6）年 3 月 16 日（土）～17 日（日）
- 会 場 : 久留米大学 御井キャンパス 御井本館（福岡県久留米市）
- 開催形式 : 対面開催

➤ スケジュール：

＜プレプログラム＞		
日程	時間	内容
3月15日（金）	15:00～17:00	若手研究者ワークショップ ～若手研究者のための共同研究のすすめ～
＜本プログラム＞		
日程	時間	内容
3月16日（土）	9:45～10:00	開会あいさつ
	10:00～11:30	基調講演
	11:30～13:00	昼休憩
	(11:40～12:40)	理事会
	13:00～15:00	一般発表（学生発表含む）
	15:00～15:10	休憩
	15:10～17:10	一般発表
	17:10～18:10	総会
3月17日（日）	18:30～20:30	懇親会
	9:00～11:00	一般発表
	11:00～11:10	休憩
	11:10～12:00	ポスター発表
	12:00～13:00	昼休憩
	13:00～13:50	一般発表
	13:50～14:00	休憩
	14:00～16:00	理事会企画シンポジウム
16:00～16:10	閉会あいさつ	

➤ アクセス

電 車：JR久大本線「久留米大学前」駅下車 徒歩約3分

<https://www.kurume-u.ac.jp/access/>

自動車：久留米 IC より約5分。体育館（御井アリーナ）横の駐車場をご利用ください。

